

「中間とりまとめ」に対する主な意見

■ 農業関係者からの意見

- 緑は大切だ、緑を守る施策は必要だと総論としては理解できる。
- 緑を守っている農家は、農業だけで生活が成り立たない。成り立つためには、資産活用など農外収入に依存せざるをえない。
- 緑を守ることは大事なことだが、守っている農家に対して規制だけでなく(利益を享受する人も負担するなどにより)メリットもある仕組みが必要(例 市民の森の奨励金など)。
- 特に、相続税によって持ちこたえられなくなる。また、相続ごとに非農家農地が発生することが農業をだめにする。これらへの抜本的な対策が必要。
- 周辺の住民の無理解やマナーの悪さなどで困っているケースもある。
- 横浜市全体の調整区域について、十把一絡げに対応するのは無理なやり方。
- 対策として、地区特性に応じてやっていくやり方は理解できる。しかし、昔の線引き以来の警戒感もあり、エリア区分の線を引くことは大変難しい。
- 農家の間で不公平感が出ると大変(特にエリア別となるとAエリアにしか土地を持たない人など大変なのではないか)。
- 大変厳しい問題なので、十分に議論し慎重な取組みが必要。
- 市民の考えだけでなく農家の声をよく聞いて欲しい。委員会での検討内容は、農業関係者にきめ細かく説明し、意見を聞いてほしい。また、調整区域内の住民の実態を把握すべきだ。
- 委員会としても農業関係者の意見を十分聞いて欲しい。委員会メンバーに農業関係者をに入れて欲しい。

■ 市民からの意見

- 墓地、資材置場などの土地利用の混在に対して一定のルールが必要。
- 廃棄物処理施設などの立地により、貴重な緑地がある市街化調整区域をこれ以上破壊しないで欲しい。
- 緑地の必要性や保全を進めるためのアイデアを提案。
 - ・ 基金で土地を買い上げ、その土地を市民菜園として賃貸するなど、その収入で緑地を買い上げる。
 - ・ 市民の寄付と公債により個人所有地を買い上げ緑地公園とする。その際、寄付者の名前を残すなど。
 - ・ 例外的に廃棄物処理施設を認める場合は、騒音、振動、悪臭等の対策のため建築物の建築を認める。
 - ・ 市街化調整区域内の緑地を公園として、ほとんど自然そのままの状態で市民に開放するなら、多少税金が上がっても構わない。
- 駅の周辺は、市街化区域とすべき。
- 貴重な緑地がある市街化調整区域をこれ以上破壊しないで欲しい。
- 保全すべき地域は、規制を強化してもよい。
- 建物や住み心地や景観も資産価値をなすものであり、これを行政が積極的に指導していくべき。

- 違反建築物を、きちんと取り締まるよう要望。
- 駅周辺の対策、緑の意義（かえって危険）の検討、違反对策が必要。
- 地権者の意向も集約の上、都市施設付近の市街化調整区域について、市街化区域への線引き見直しを行うよう要望。